資料番号	10

令和８年３月５日
課　名　土木建築局港湾振興課
担当者　ポートセールス担当監　野田
内　線　4033

福山港のコンテナ定期航路（韓国航路）の増便について

１　要旨・目的

福山港においてSINOKOR（長錦商船）及びHEUNG A LINE（興亜ライン）が共同運航する韓国向けコンテナ航路（週１便）が、３月第２週から２便に増便されることとなったので報告する。このことにより、福山港における韓国向けコンテナ航路は週２便から３便へ増便となる。

２　現状・背景

SINOKOR（長錦商船）及びHEUNG A LINE（興亜ライン）は、共同運航による釜山・釜山新港向けなどのサービスを提供している。

当該航路は、西日本での運航スケジュールの安定化を図るための航路改編に伴い、２月第１週から週１便（１便減便）で運航されていた。

しかしながら、福山港への貨物輸入の需要に一部対応できない事例も生じていたことから、改めて航路が改編され、増便されたもの。

３　概要

(1)　航路改編の概要

今回の航路改編により、月曜日の福山港寄港便は、釜山港出港後、最初の寄港地となることから、韓国からの迅速な輸入が可能となる。

【航路改編後：週１便】

船社名	曜日	最大積載量	寄港地
SINOKOR・HEUNG A LINE	水	698TEU	福山(水)－伊予三島（木)－高松(金)－徳山（土) －釜山(日)　－釜山新港(月)　－博多(火)　－福山(水)

【航路改編前：週２便】

船社名	曜日	最大積載量	寄港地
SINOKOR・HEUNG A LINE	月	704TEU	福山(月)－今治（火)－松山(火)－水島(水) －高松(水)　－釜山(土/日)－福山(月)　増便
	水	698TEU	福山(水)－伊予三島（木)－高松(金)－徳山（土) －釜山(日)－釜山新港(月)－博多(火)－福山(水)

(2)　今後の対応

福山港の更なる利用促進に繋がるよう、船舶代理店等関係者と連携し、荷主企業に対して、当該航路サービスによる利便性向上について積極的にＰＲを行う。

今後も韓国船社の動向を注視し、福山港のニーズと利用状況を説明することで、コンテナ航路の維持・拡充に努める。

（参考）

1　福山港におけるコンテナ貨物取扱量の推移

（単位：TEU）

年	輸出	輸入	合計	（うち韓国航路）	（うち SINOKOR・HEUNG A LINE）
2023	37,591	37,459	75,050	16,354	7,371
2024	36,753	37,447	74,265	17,417	8,309
2025（速報値）	38,733	39,248	77,981	17,978	10,755

※空コンテナを含む

2　福山港における定期コンテナ貨物航路（令和８年３月航路改編後）

3　改編後の福山港における韓国航路（週３便）

船社名	曜日	最大積載量	寄港地
SINOKOR・HEUNG A LINE	月	704TEU	福山(月)－今治（火）－松山(火)－水島（水）－高松(水)－釜山(土/日)－福山(月)
	水	698TEU	福山(水)－伊予三島（木）－高松(金)－徳山（土）－釜山(日)－釜山新港(月)－博多(火)－福山(水)
KMTC ※改編無し	火	1,103TEU	福山(火)－広島（水）－大分(木)－蔚山（金）－釜山(土)－大阪(月)－神戸(月)－水島(火)－福山(火)